





知っていますか？CKD(慢性腎臓病)

CKDとは、eGFRで表される腎機能の低下があるか、たんぱく尿が出るといった腎臓の異常が3か月以上続く状態を言います。日本では現在、約2,000万人(成人の約5人に1人)の患者さんがいると推定され、新たな国民病として注目されています。

腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれており、CKDの初期は自覚症状がほとんどありません。

CKDが進行すると、透析療法や腎臓移植などが必要になる可能性があるとともに、CKDであると心血管病(心臓病や脳血管障害)を起こしやすいことも知られています。

ステージ	G1&G2	G3a	G3b	G4&G5
eGFR区分	60以上	45~59	30~44	29以下
ほか	尿蛋白(+),画像所見	左記は問わない	左記は問わない	左記は問わない
シール				

※緑は、eGFR値 60(mL/分/1.73m²)以上だが、蛋白尿陽性又は片腎等の画像所見で異常がある場合、貼付
それ以外の色は、eGFR値のみで貼付

CKDシール
で腎臓を守る取組み
はじまっています!

色は、赤色に近づくほど重症度が高いことを表しています

『CKDシール』って？

かかりつけ医や薬剤師がCKDシールを確認することで、腎臓の働きを考えたお薬の調整がしやすくなり、患者さんの腎臓を守ります。

このシールをお薬手帳に貼ってもらった患者さんは、

- ・腎臓以外の病気で受診されるとき
- ・薬局に処方箋を提出するとき

など、必ずお薬手帳を出して、CKDシールを見せるようにしましょう。

詳しくは
宮崎県HPへ→

